

## 北海道になぜ「難波田川・橋」がある？

市民学芸員 山本 長春



難波田川看板(旭川市)



難波田橋バス停(剣淵町)

自分が住む街と遠く離れた地が、何かの縁でつながることがないでしょうか。道産子の私にとって、富士見市と旭川市とはまさにそうです。難波田城主の子孫・難波田憲欽氏が明治期、屯田兵将校として北海道に渡り、旭川市で河川改修などに尽力、市内に「難波田(なんばた)川・橋」まであることを最近知りました。なんとロマンあふれる話でしょう。

難波田川は石狩川水系で、いまは全長7.1kmの小河川です。明治の開拓期は、大樹林の中を湾曲して流れ、降水のたびに氾濫しました。そこに明治31年(1898)、屯田兵第三大隊の中隊長として赴任したのが憲欽氏でした。屯田兵は、明治政府が北海道開拓と北辺警備を目的に創設したものです。難波田中隊長は、部下に川の調査を命じ、部隊挙げての改修を決断。工事には全兵士とその家族を動員し、鍬、スコップを使って掘削、拡張したといわれます。これにより水田が整い、舟運も便利になりました。そして川の名前は、現在の難波田川となりました。また、この川に架かる橋、難波田橋が旭川市内にあります。

その後、彼は剣淵町に異動します。そこでも川の改修に尽力します。これが由来となる難波田(なんばた)橋が剣淵町にもあります。

憲欽氏の生涯は名字の通り波乱万丈でした。江戸末期の安政4年(1857)、旗本の三男として生まれました。父親が、明治維新で没落し酒に溺れるのを見て役人を目指しますが、軍人に転身。西南戦争では西郷軍兵士と取っ組み合い九死に一生を得ました。日清戦争の後、新天地、北海道へ転任しました。

彼の次男龍起氏(1905～97)は、抽象画の大家で文化功労者にも選ばれました。旭川に生まれ1歳の時、一家が上京。転居したのが高村光太郎・智恵子夫妻のアトリエの裏隣りでした。それが芸術に目覚める大きな転機だったといわれます。

現在、龍起氏の作品は東京オペラシティアートギャラリーにも収蔵されており、12月24日まで開催中の収蔵品展「懐顧 難波田龍起」で鑑賞できます。

また、平成14年(2002)には、この富士見市で展覧会が開催されました。そして龍起氏の三男武男氏も最近、難波田城公園を訪れました。

難波田川近くの公園(旭川市)には、龍起氏らが建てた「難波田川ゆらい碑」があります。碑には「往時開拓に尽くされた屯田兵達並びに兵村の人々の労苦を偲び感謝を捧げる」と刻んでいます。現地を訪れ、大いなるフロンティア精神を感じました。

難波田川ゆらい碑  
(旭川市豊岡キキョウ公園)

市民学芸員のページ \*このページは市民学芸員が原稿を執筆、編集しました。

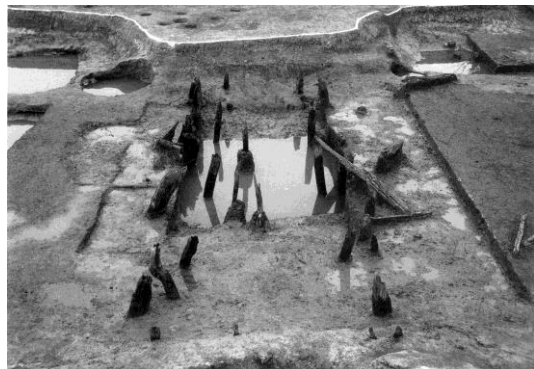
難波田城 ちょっと拝見 みどころ紹介

城跡シリーズ② 『復原木橋』

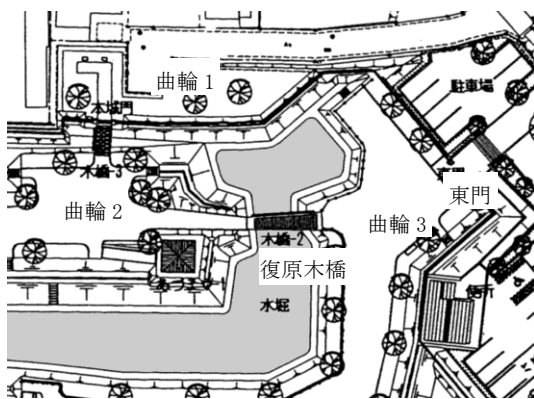
城跡ゾーンには、水堀などに架けられた3つの橋があります。その中で、東門近くにあり、曲輪2と曲輪3を繋いでいるのが「復原木橋」です。発掘調査報告書には、堀跡の中から木橋の橋脚と思われる33本の丸太が発見されたとあります。丸太の配列状態などから判断して、新・旧の2期の橋に分けられるとのこと。古い木橋の材はクリを、後に架けられた木橋の材はサイカチ（皂莢）が使われています。

このうち古い木橋の橋脚は、曲輪3側は一間半（約270cm）、曲輪2側は一間（約180cm）で、半間（約90cm）の差があり、曲輪3側から曲輪2側へ狭まるようになっていきます。これは意図的だった可能性があり、城の防御技法を知る上で興味深い事例です。実際、曲輪3側から見ても橋の幅が狭まっているのが分かりづらくなっています。曲輪2側から見ると同じ幅にも見えます。目の錯覚でしょうか。まさに、城跡ゾーンのミステリーです。（古澤立巳）

（参考文献）『富士見文化財報告書第50集難波田城跡』『難波田城のすべて』



木橋跡(曲輪3側から撮影)



難波田城公園城跡ゾーン図(部分)

おもしろ・なつかし体験⑤⑥

紙飛行機を飛ばそう

このコーナーは、難波田城公園での体験学習やイベントの紹介・報告・参加者の感想などを取り上げます。

ちょっと体験「紙飛行機を飛ばそう」を担当して今年で3回目になりました。

1年目(2015年9月23日開催)は無我夢中。午前中は園内ガイド、午後は紙飛行機と市民学芸員1年目でしたので冷汗ものでした。初体験でしたが、楽しさもありました。25名参加。

2年目(2016年9月19日開催)から2人(市民学芸員の早川さん)で担当し、余裕が出来ました。当日は雨になり、講座室で開催しました。参加者は少なめでしたが、室内なので風がなく、それなりに楽しめました。

3年目(2017年9月18日開催)は台風一過の好

天に恵まれ、参加者は28名とまずまずでした。世界一飛ぶ紙飛行機をメインに折り方を教え、子供たちが四苦八苦して折った紙飛行機が飛んだ時の嬉しそうな笑顔を見ると、担当した甲斐があったとあらためて実感しました。

来年も担当するぞ！ (鈴木 栄一)



2012年にギネス認定された世界一遠くまで飛んだ紙飛行機の折り方(約70m飛んだとのこと)



ほかにも色々な紙飛行機があります



## ＊ ＊冬のイベント予定＊ ＊

### ●企画展情報

#### 秋季企画展「村の暮らしと河岸場」

この春に市指定有形文化財になった大澤誠一家文書(大久保村名主家)と林三喜家文書(山下河岸の舟問屋)をとおして、村の暮らしをさぐります。

会期／1月8日(祝)まで 会場／特別展示室

#### 春季企画展「里神楽と面師」

各地の依頼を受け里神楽を舞う市内の社中や、市内で三代続けて神楽面などを作る面師を紹介します。

会期／3月10日(土)～6月10日(日)

会場／特別展示室

#### 春期企画展関連イベント

3月11日(日) 講演会「里神楽の楽しみ方」(齋藤修平氏)

3月17日(土) 特別企画「里神楽演舞」(齋藤社中)

### ●子ども書初め練習会

とき／12月23日(祝)

①午前9時半～10時半 ②午前11時～正午

会場／講座室

対象・定員／市内小中学生・各15人(申込順)

持ち物／書道セット、書初め用紙、お手本、新聞紙  
申込み／12月2日(土)午前9時から電話で

協力／<sup>けんゆう</sup>硯友会

### ●餅つき実演と餅の販売

ちよつ蔵市で、餅つきの実演とつきたての餅の販売をします。

とき／12月23日(祝) 午前11時～売切れまで

価格／1パック200円 会場／旧金子家住宅

主催／難波田城公園活用推進協議会

### ●ふるさと体験「正月飾りづくり」

とき／12月27日(水) 午後1時～3時

会場／旧金子家住宅

対象・定員／市内在住・在勤者15人(申込順)

参加費／1200円(材料代)

持ち物／はさみ 指導／<sup>きつかわせつお</sup>吉川節男氏

申込み／12月1日(金)午前9時から電話で

### ●正月飾り材料の予約販売

受付／12月1日(金)～12月17日(日)に電話で

※締切り後のキャンセルはご遠慮ください

引渡し／12月27日(水)午後1時～3時

資料館ホールで

費用／1組1000円(わら付きは1100円)

主催／難波田城公園活用推進協議会

### ●古文書入門講座

市内に残された江戸時代の古文書を解説しながら、当時の歴史や文化を学びます(全3回)。

とき／1月13日(土)・1月27日(土)・2月10日(土)

の午後1時～3時

会場／講座室 講師／山野健一(当館職員)

定員／20人 参加費／無料 申込み／随時

### ●ふるさと体験「古民家で手作り味噌」

手作業の味噌づくりを体験し、自作の味噌(2kg分)を持ち帰ります。

とき／2月24日(土) 午後1時～3時

会場／旧金子家住宅 参加費／1500円(材料代)

定員／市内在住在勤の方・15組(申込み順)

持ち物／エプロン、三角巾、容量10<sup>リットル</sup>の容器など

申込み／2月3日(土)午前9時から直接又は電話で

### ちよつ蔵市(難波田城公園活用推進協議会主催)

12月23日(祝)もちつき

1月28日(日)マユ玉だんご

2月 お休み

3月25日(日)草もち

田舎まんじゅう販売

第1、3日曜日10:30～

お見亭(予約制手打ちうどんランチ)

12月12日(火)、2月20日(火)

11:30～13:30 \*1月はお休み

※他にも様々なイベントがあります。各イベントの詳細は、広報ふじみやポスター、チラシ、公式サイトなどでお確かめください。

### 年末年始の休館のお知らせ

資料館と古民家は12月29日(金)から1月3日(水)まで休館です。公園は無休で、午前9時から午後5時まで開園しています。



なんばたじょう  
**難波田城**  
FUJIMI MUNICIPAL MUSEUM

富士見市立難波田城資料館

Tel. 049-253-4664 Fax. 049-253-4665

〒354-0004 埼玉県富士見市下南畑 568-1

<http://www.city.fujimi.saitama.jp/30shisetsu/11nanbadajyo/index.html>

◆休館日／月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日(土・日・祝日を除く)、年末年始 開館時間／午前9時～午後5時

◇公園休園日／なし 開園時間／午前9時～午後6時(4月～9月) 午前9時～午後5時(10月～3月)



資料館公式サイト